

チビタケナガシクイ

分類：コウチュウ目(鞘翅目)ナガシクイムシ科

学名：*Dinoderus minutus*

英名：Bamboo powder-post beetle



■解説

本種は、年4回発生で、幼虫で越冬し、春から秋にかけて成虫が羽化する。幼虫・成虫ともに竹材を穿孔食害するが、竹材の糖分の多い部分のみを食害し、表皮や肉皮は食害しない。雑食性で、竹材のほか様々な材質のものを穿孔食害し、穀粉にも発生することがある。温帯の全世界に分布し、日本でも全国に生息する。

■体長¹⁾

卵：長さ0.3~0.4mm、直径0.1mm内外

幼虫：3~4mm(終齢)

蛹：—

成虫：2.5~3.5mm

■産卵数¹⁾

産卵数/生涯：10~20個

産卵数/1回：3~4個

■ライフサイクル¹⁾

卵：3~7日

幼虫：20~40日

蛹：約2週間

成虫：—

■発育零点(発育停止温度)

—

【参考文献】

1) 山野勝次. 生活害虫の事典. 朝倉書店. 佐藤仁彦編. 2003, p. 82-83